

ながさきけん希望大使 ふくだ ひとし 福田 人志さん



次に続く人へのメッセージ

これまで培ってきた素晴らしい人生の主人公である、あなたが見てきたことを、そして今見えている世界とこれからの思いを、素敵な笑顔で伝えてください。

日々の暮らし



勤務しているデイサービスで利用者さんのリハビリのお手伝いをしています。



壺行の歌のメッセージ展示会に向けて、下絵を制作中です。少しペースが遅れてる💧 気持ちは画家かな？

大使としての活動

【きっかけ】

私たち当事者の思いや生き方を理解して、応援してサポートして下さる人が増えていくことを、心より感謝したいと思います。
皆さんとの繋がりを大切にしながら、暮らしやすい町になるように一緒に進めていきたいと思いますので、これからもよろしくお願いたします。



今日は二人で馬車を楽しんで、お馬さんと記念撮影。



私たち当事者同士が会える場所であり、誰でも参加できる「峠の茶屋」が8年目を向かえ、これからも皆と繋がりたい。参加者のことを思いながらワクワク準備中です。



佐世保市での、本人ミーティング案内用ポスターを貼らせていただきました。やったー！

ながさきけん希望大使
みぞかみ ふみのり
溝上 文徳さん



次に続く人へのメッセージ

同じ認知症でも、アルツハイマー型と前頭葉側頭型とは症状の違いがあります。

本人も大事ですがそばに居る家族がストレスをためない生活を送ることも大切です。

略歴と、日々の暮らし

- ・2021年の8月末まで長年建設業を自営。
- ・2019年3月、54歳で前頭側頭型認知症と診断される。
- ・県の若年性認知症の集いに参加し、一昨年には長崎文化放送の取材を受け、ドキュメンタリー番組にも出演。
- ・B型作業所へ週に4、5日行っています。



自分が体験したことをお話しています



大使になったきっかけや活動を応援したり、援助してくれる仲間等

認知症の人と家族の会からの勧めで。同じ病気の人や家族の方に伝えられる事があればと思って。

友人や家族、長崎県の関係者の方、認知症の家族の会の方に支えられ元気に過ごせてます。

病気になった頃はぬり絵をしてました。

今は集いの時とか字を書いたりしてます。一番できるのはカラオケ。



ながさきけん希望大使

かないだ まさあき

金井田 正秋さん



日々の暮らし

- 診断されてから毎日60分5キロ7千歩のウォーキング・家事農作業している
- 3年目から松浦佐世保の認知症患者家族会の集い等に参加している
- 5年目から毎週1回すっきり健康教室に行っている
- 6年目から講演依頼会場に出掛けて「私は認知症です」と題して30分講演している



次に続く人へのメッセージ

認知症は治る病気では無いので、認知症と闘う気力が有れば認知症になっても自立した一人の人間で有り権利も有り当たり前の生活をする権利も有ります。

隠れたり介護治療無しで日常生活廻りを気にしないで堂々と行動して下さい。認知症も病気だから何も気落ちしないで堂々と私のように「私は認知症です」と言って一度切りの人生ですから、認知症それがどうした俺は俺だぞと堂々と行動して下さい。

認知症と闘う気力・家族介護者が患者本人の認知症状を理解出来れば、中核症状だけで周辺症状行動心理は落ち着き、認知行動リハビリ療法等で私のように14年間認知症は怖く無く日常生活ができ、県内の患者家族会の皆さん達と仲良く意見交換等して楽しい人生生活が出来ます。

大使になったきっかけや活動を応援したり、援助してくれる仲間等

2015年7月2日に診断されて6年になり、病状が悪化して寢室生活が1ヶ月に成った時に、佐世保の患者家族会のはなみずき会の代表の松尾さんの「講演をして見ませんか」の一言で私の人生が変わりました。

40日掛けて6年間の認知症状を日誌から書き出し「私は認知症です」と題して各地の講演依頼会場に出掛けて、皆さん達と交流していたら日に日に私の人生が変わり、認知症は怖く無く、9年目には重度病状になりましたが、患者家族会との交流で堂々と日常生活していたら、長崎県認知症本人大使赴任の依頼が有り引き受けました。松浦・佐世保・諫早の患者家族会の代表者を始め会員皆さん達から良く指導して戴いています。

ながさきけん希望大使

江濱 真司さん

次に続く人へのメッセージ

大使の中には、認知症に詳しい大使の方もいらっしゃるのですが、そうした方から色々教えてもらうことができますので、安心です。

私の略歴

- ・長崎市内で勤務。
- ・2019年頃に若年性認知症と診断される。
- ・県の若年性認知症の集いに参加。
- ・職場が協力的で、ジョブコーチ支援も取り入れるなどしながら就労継続中。

大使になったきっかけや活動を応援したり、援助してくれる仲間等

会社から認知症大使になってみないかと言われて、認知症大使になりました。

ながさきけん希望大使

たなか ゆたか 田中 豊さん

次に続く人へのメッセージ

私は50歳の時に、アルツハイマー型認知症と診断されました。

皆さんは認知症となると不安なイメージと思うでしょうが、私もそうでしたが、進行すると聞かされましたが、周りの人のフォローと会社の人たちの理解で自分らしく進んでいいと言ってもらえて安心して暮らしています。

皆さんも希望を持って暮らしてください。

私の略歴

- ・50歳頃に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。
- ・長崎市の研修会や家族の会の交流会で講話をしている。
- ・現在も就労継続中。

大使になったきっかけや活動を応援したり、援助してくれる仲間等

東長崎地域包括支援センターの方々の推薦と私が地域で認知症の活動をしたいとの思いを組んでもらったのがきっかけです。廣瀬大祐さん、会社の同僚など。